

提案団体名: AGC株式会社

○提案内容

<p>(1) 自社の保有するスマートシティの実現に資する技術と実績等 ※スマートシティの実現に資する技術については、別紙3の(1)～(7)の技術分野への対応を記載ください</p>	
技術の概要・実績等	技術の分野
<p>技術の概要・実績 ■室内側に設置して屋外エリアを構築できる、ガラス窓への可視光透過型ガラスアンテナの設置</p> <p><資する技術> ①可視光透過型ガラスアンテナの提供 ・耐候性に優れたガラス素材を使用した、(半)透明アンテナ ・既存窓ガラスによる、電波の透過損失、反射を抑えるGlass Interface Layer(GIL)技術を実装(実績) ・開発中(2019年市場投入予定) ・既存ガラス室内側に設置した試作アンテナでの屋外Field testを実施し、エリア確保、GIL効果の実証済</p> <p>②ガラス窓への、アンテナ、IoT機器の設置技術 ・既存窓ガラスに後付け設置する技術(熱割れ計算、ガラス工事、耐久性確保)(実績) ・既存窓ガラスに後付けできる窓ガラス(商品名: ATTOCH)を2013年より販売(全国に約3万㎡設置実績有)</p>	<p>(1)</p> <p>(7)</p>
<p>(2) (1)の技術を用いて解決する都市・地域の課題のイメージ ※課題については、別紙3の(ア)～(シ)の課題分野への対応を記載ください</p>	
解決する課題のイメージ	課題の分類
<p>都市・地域の課題イメージ ■無線信号情報の出入り口である基地局アンテナ設置数の増加による景観の悪化、設置場所の不足</p> <p>(背景) ・高速大容量情報の伝達のために無線区間の高周波数化(sub6、mm波)が進み、エリアはスモールセル化 ⇒無線信号の使用環境の近距離にアンテナの設置が必要であり、基地局アンテナ数の増加は必然 ⇒特に都市部ではアンテナの設置場所(高さ10m程度の位置)確保が大きな課題であり、現状は、壁面設置が一つの解決策になっているが、景観を損ねるという理由で、アンテナ設置に至らない事案が多い。</p> <p>(解決のイメージ) ・特に都市部では、高さ10mの位置は、ビル等の建築物が占めており、建築物における窓ガラス比率が大きい ◎建築物の既存窓ガラス室内側に可視光透過型アンテナ(屋外に電波を効率よく放射できるGIL技術搭載の、耐候性に優れたガラスアンテナ)を設置することで、景観を損ねず、設置可能な場所の増加もでき、高速大容量通信可能エリアの拡大に寄与する。</p>	<p>(ア)</p> <p>(ク)</p> <p>(シ)</p>
<p>(3) その他</p>	

○部局名・担当者・連絡先(電話及びメール)

部局名	担当者	連絡先(電話)	連絡先(メール)
ビルディング・産業ガラスカンパニー アジア事業本部 日本事業部	東田 康志	03-5811-1632	yasushi.higashida@agc.com